

令和3年度久留米特別支援学校 学校評価結果のお知らせ

久留米特別支援学校において、本年度取り組んできました教育活動について、「学校の自己評価」「学校関係者評価」の二つの評価を行いましたので、その結果をお知らせします。

久留米特別支援学校 校長 倉富 護

ポイント

1

保護者アンケート結果を受けて行った教員による「学校の自己評価」

久留米市教育振興プランの3観点を踏まえ、7つの評価指標を設定し、保護者アンケート・教員アンケート等の資料に基づいて評価しました。

	〈評価指標〉	〈評価結果〉	評価
学校の教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ■教員及び保護者アンケートで、「学校の教育目標が達成できた」の4段階評価平均値(以下、平均値)3.2以上。 ■保護者アンケートの回収率70%以上 	<ul style="list-style-type: none"> □4段階評価平均値(以下、平均値)が教職員アンケート3.0、保護者アンケート3.1 □アンケート回収率81.2%。 	△ もう少し
【学びをつなぐ授業】 自立活動	<ul style="list-style-type: none"> ■「学校の授業(自立活動)は、お子さんの力を発揮できるものになっていますか」保護者アンケート満足度前年比増 	<ul style="list-style-type: none"> □保護者の満足度3.1(前年同様) 	△ もう少し
【学びをつなぐ授業】 家庭等との連携	<ul style="list-style-type: none"> ■「学校・家庭・関係機関の連携ができて子どもの学びがつながっている。」という保護者のアンケート結果満足度8割以上 	<ul style="list-style-type: none"> □保護者の満足度(肯定的評価)が95.2% 	○ できた
【学びをつなぐ授業】 ICT活用	<ul style="list-style-type: none"> ■「ICTを毎日使って授業を行っていますか」教員自身による自己評価95%以上 	<ul style="list-style-type: none"> □教職員の自己評価は75.3%(タブレット端末導入前に調査) 	△ もう少し
【楽しい学校】 いじめ・不登校対策	<ul style="list-style-type: none"> ■いじめ・不登校対策委員会を毎月実施するとともに、諸機関と連携し、個別の事案に関するケース会議を学期に2回以上開催し、不登校、不登校傾向生徒を2人以下に 	<ul style="list-style-type: none"> □改善が見られた児童生徒もいた。校内で対策委員会を週に1回実施するようにし、個別のケース会議を学期に1回は行い、関係諸機関との連携の強化を図った。 	○ できた
【楽しい学校】 行事への参加	<ul style="list-style-type: none"> ■「子どもが学校行事に楽しく参加している」と答える保護者の割合95%以上 	<ul style="list-style-type: none"> □保護者の満足度(肯定的評価)95.3%(前年度比+1.9%) 	○ できた
【楽しい学校】 学習	<ul style="list-style-type: none"> ■めあてや見通しをもつ場、学習後の振り返りの場についての成果や反省を授業実績簿に記入する ■技能発表会への参加率で前年度を上回る 	<ul style="list-style-type: none"> □授業実績簿へのより詳細な記入が必要 □清掃技能検定は昨年受験を予定していた生徒3名だったが、今年度は6名挑み合格 	○ できた
【楽しい学校】 安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ■「安全や健康に配慮した教育活動が実施されている」と答える保護者の割合95%以上に 	<ul style="list-style-type: none"> □保護者の満足度(肯定的評価)は、96.7%であった。【保護者アンケート】 	◎ できた
【笑顔の先生】 家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> ■「お子さんに身に付けさせたい力や進路について、学校との話し合いはできましたか」という保護者のアンケート結果満足度8割以上 	<ul style="list-style-type: none"> □保護者の満足度(肯定的評価)79.7% 	△ もう少し
【笑顔の先生】 家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> ■「担任等が学校でのお子さんの様子について家庭に連絡するなど、学校と家庭との連携はできているか」前年比増 	<ul style="list-style-type: none"> □保護者の満足度(肯定的評価)95.2%(前年度比+2.1%) 	○ できた
【センター的機能】	<ul style="list-style-type: none"> ■実践公開研究会での来訪者満足度調査における「満足」回答90%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ※前年度同様に、実践公開研究会は校内研修として実施 	△
【その他】 キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> ■「12年間を見通したキャリア教育推進が図られている」と答える教員の割合70%以上 	<ul style="list-style-type: none"> □肯定的な評価をした教職員67.1% 	△ もう少し

自己評価結果が妥当であるかについて評価する「学校関係者評価」

本校学校評議員の皆様へ学校の自己評価結果をご覧いただき、次のような意見をいただきました。

～学校関係者評価の意見の抜粋～

- 子どもたちが落ち着いている。かかわる先生が、しっかり一人一人を見ていて、それが安心にもつながっていると思います。
- 新型コロナウイルス感染症対策をしながらの教育活動は本当に大変だと思いますが、先生方がよく頑張っていると感じます。
- 感染予防対策に努めながら、学習発表会や修学旅行によく取り組まれたと思います。児童生徒の笑顔が、成果を物語っています。
- 児童生徒の実態に応じたタブレット端末の活用に期待します。
- 今後も関係機関と連携しながらの指導・支援に期待します。
- 12年間を見通し、3学部で情報共有、情報交換をしながら、系統性のある教育をお願いしたい。
- 卒業後に相談できる場所（相談事業所）があることを周知してもらえるとよいと思います。保護者の望むことと本人の望むことがイコールではない場合があります。卒業までに、相談できる「地図」をもっておくとういのではないかと思います。
- 情報モラル教育の必要性を感じます。
- 学校の教育目標に照らし、取組を焦点化、重点化されると実践の効果も高まると思います。

学校評価結果を受けて、今後は、次のようなことに取り組みます！

学校の自己評価結果、学校関係者の意見などを踏まえ、次年度は、次のようなことに取り組むと考えています。



- ◇ 適切な合理的配慮による環境整備と、子どもたちの自立と社会参加を目指す支援計画・指導計画の作成・充実を継続します。ICT機器等を適切に活用していきます。
- ◇ 小学部から高等部までの一貫性した指導の充実、及び就労率の向上のために、日々の授業改善と進路指導の一層の充実を図ります。卒後支援も含め、進路指導の充実を図ります。
- ◇ 今後の新型コロナウイルス感染拡大の状況にもよりますが、特別支援教育に係る専門性の向上を図るため、専門家の定期的招聘や外部研修への積極的参加を進め、自立活動に重点を置いた実践力向上を目指した校内研修の充実を図ります。
- ◇ 専門機関との連携を継続しながら、センター的機能の発揮・充実に努めます。